

令和5年度 事業系のごみ処理のあり方に関する事業者アンケート（結果）

1 目的

事業系のごみ処理のあり方について、今後の施策の参考にするため、「事業系のごみ処理のあり方に関する意見交換会」などを通じて、アンケート調査を行いました。

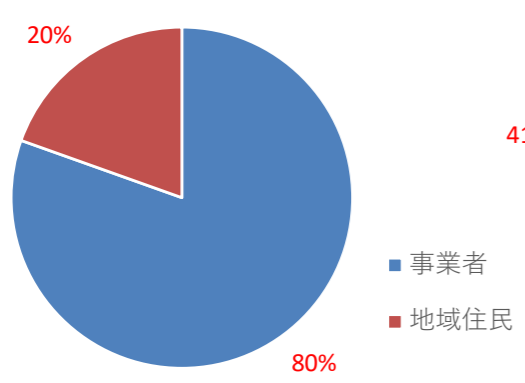
2 対象者

区分	調査期間	回答者数	自由意見数
コミセン等意見交換会	R5. 11. 1～R5. 11. 24	63 人	29 件
経済団体等意見交換会	R5. 12. 4～R6. 1. 22	63 人	10 件
市ホームページ意見募集	R5. 11. 1～R6. 2. 15	10 人	18 件
計		136 人	57 件

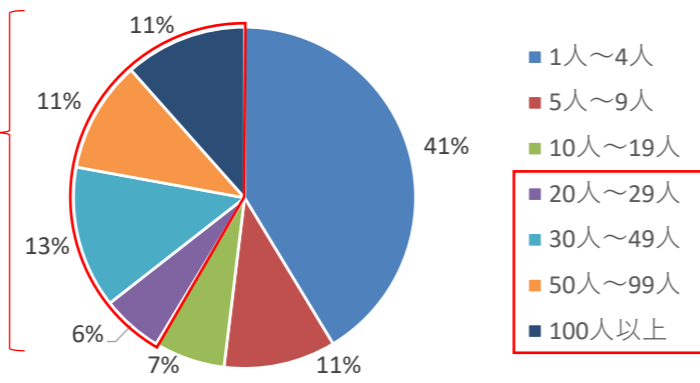
3 アンケート結果

■回答者の属性

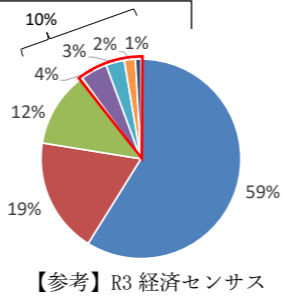
○事業者と地域住民の別



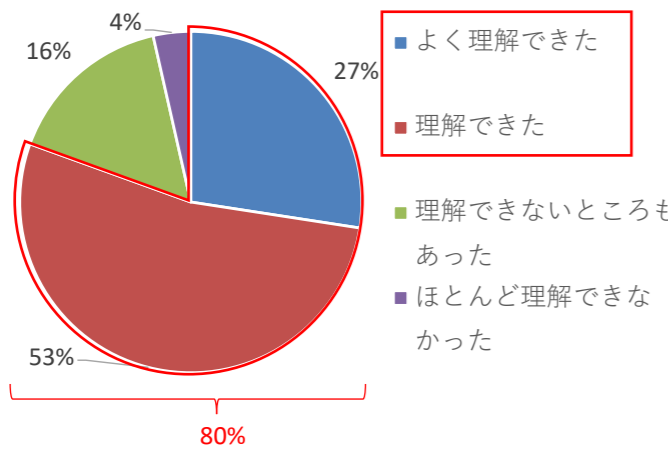
○事業者の従業員規模



・事業者と地域住民は、8：2であった。
 ・回答した事業者のうち41%が、従業員数20人以上の比較的大きな事業者であった。
 (R3 経済センサス：本市の従業員数20人以上の事業所は、全事業所の10%)

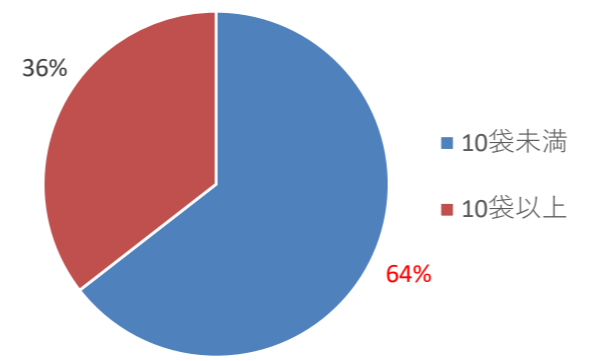


■質問1 本市の事業系ごみの現状は、理解していただけましたか。

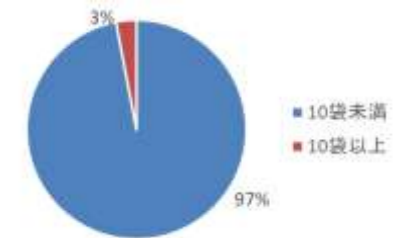


(※意見交換会アンケートのみ)
 ・80%が理解できたと回答している。

■質問2 貴事業所では、1週間あたり、どのくらいのごみが出ますか？

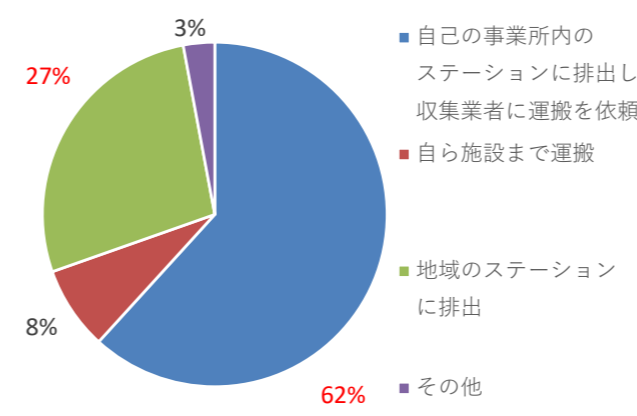


・64%の事業者が、排出するごみの量は10袋未満であり、1週間あたりのごみの量は、比較的小さい。
 ・R4 事業所アンケートと比べ、10袋未満は少ないが、今回は、比較的大きな事業者が、回答したためと考える。

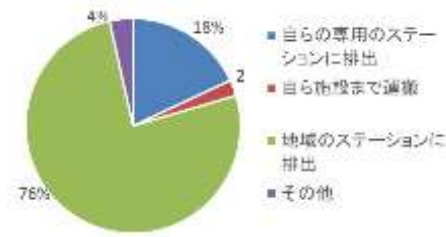


【参考】R4 事業所アンケート
 ※対象：市内の従業員数10人未満の個人事業主（回答数836事業所）

■質問3 事業所から排出されるごみは、どのように処理していますか？

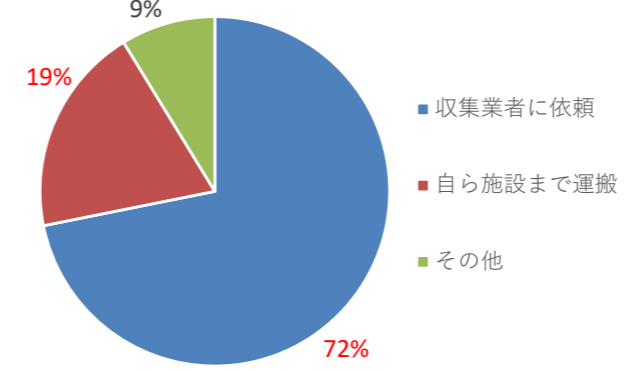


・62%の事業者が、自己の事業所内のステーションに排出し、収集業者に運搬を依頼している。また、27%の事業者が、地域のステーションを利用している。
 ・R4 事業所アンケートと比べ、地域のステーションの利用が減少しているが、今回は、比較的大きな事業者が回答したためと考える。

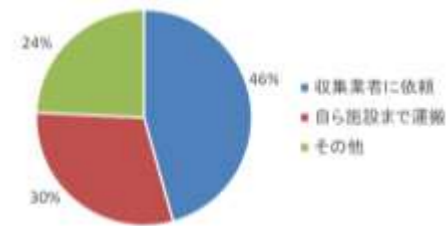


【参考】R4 事業所アンケート

■質問4 事業所のごみを、ステーションへ出すことができなくなった場合、どのように対応しますか？

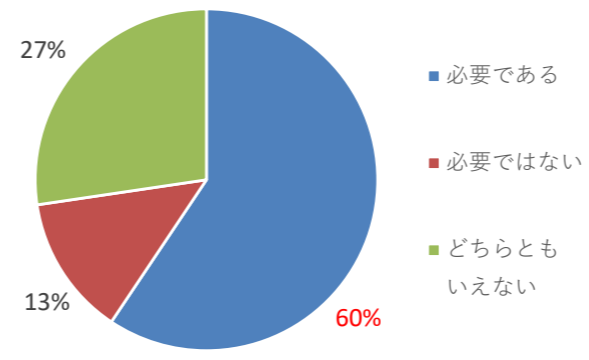


・72%の事業者が、収集業者に依頼する、また、19%の事業者が、自ら施設まで運搬すると回答している。
 ・地域のステーションに排出できなくなった場合、収集業者への依頼も含め、大多数の事業者が、自ら対応するとしている。

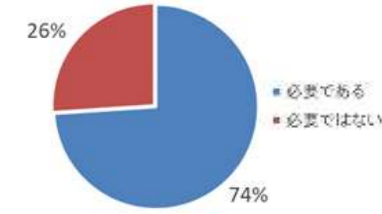


【参考】R4 事業所アンケート

■質問5 事業所から排出されるごみの処理に対し、手数料の徴収は必要だと考えますか？



・60%の事業者が、ごみ処理に対する手数料の徴収が必要であると考えている。
 ・一方、どちらともいえないとした理由は、
 ・排出量によって徴収の有無を決める。
 ・家庭系と事業系が混在しており区別がつかない。
 ・手数料の徴収は、必要とは考えるが、経費を要する。など



【参考】R4 事業所アンケート